SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　スプラウト

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念についてはホームページ上で公開し、共有している。 ・経営方針を明文化し、従業員に説明している。 ・毎年期首毎に経営方針及び経営目標を共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		各関係法令についての解説マニュアルを作成しており、教育研修により社員へ法令の内容とコンプライアンス遵守の重要性について周知している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として、公正な取引に努めている。 ・教育研修によりコンプライアンス遵守の教育を実施し、社員へ周知している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		総務部を専門部署として任命している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産は取扱い担当者を任命し、管理している。 ・知的財産に関する研修を実施し、保護に取り組んでいる。 ・知的財産は任命された担当者以外が取扱うこと、正当な事由以外の情報持ち出しを禁止しており、社内にて適正に情報管理を行っている。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報管理規定」があり、規定に沿って個人情報を保護している。 ・教育研修により社員への周知を行っている。 ・個人情報の取扱いを必要最低限とし、取り扱える権限を限定している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・顧客の声（特に苦情）を大事にし、双方向のコミュニケーションに努めている。 ・定期訪問により、ステークホルダーとの対話を行い、改善に努めている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	取引先と人権侵害防止、ハラスメントの防止等の倫理面での適切な対応について認識を共有し、双方の情報・意見交換を行い、共に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について規定があり、専用の相談窓口を設けている。 ・差別や各種ハラスメントに関する教育研修を実施している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・採用時に管理責任者より安全衛生教育を実施している。 ・業務中の事故を防ぐために、管理責任者が定期的に訪問、視察を実施している。また、社員の心理的不安の解消や安全確保の為、面談を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		厚生労働省の同一労働同一賃金ガイドラインを理解し、ガイドラインに沿った体制を構築し、運営している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間を法令に従って管理徹底し、過度な残業が発生しないよう取り組んでいる。 ・有給休暇の取得を奨励し、ワークライフバランスを考慮している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・キャリア形成のための教育訓練を実施している。 ・教育訓練に係る交通費や資格取得に係る費用などの諸経費の補助を行い、教育訓練を受けやすくする体制がある。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・定期健康診断及び特殊健康診断を実施しており、受診料は全て会社が負担し、従業員は負担無しとしている。 ・従業員の体調面に関する相談に乗り、必要に応じたアドバイスや従業員の希望による配置転換にも対応している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進、昇格等に、人種、性別などの違いによる差別待遇は無い。 ・同一労働同一賃金の法令に基づき、人種、性別、障害者、高齢者等を問わず、雇用の機会を提供している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・ウェブ会議、オンライン面談を適切に使用している。 ・状況により時差出勤を取り入れている。 ・感染防止のため、定期的なアルコール消毒、オフィスの換気を実施している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・関係書類をデータ化し、電子的に保管・管理する取組みを進めている。オンラインによって関係書類の編集や閲覧が可能となり、業務の効率化に努めている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		専門の処理業者と委託契約を締結し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力会社等のwebシステム等にて使用量の確認・把握を行っている。 ・会議室、打ち合わせ室等、使用時以外の照明器具の消灯及びエアコンの停止、必要最低限のPCのみ稼働させ、省エネルギーに取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車の一部を水素自動車に転換し、またハイブリッド車両の導入を進めており、温室効果ガスの排出量抑制に取り組んでいる。 ・エアコン設定温度を夏季28℃、冬季20℃に設定し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。 【予定】令和4年1月　温室効果ガス排出量の把握を実施		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラスチックやレジ袋などの削減に努めている。 ・資材、備品は必要最小限の在庫、使用数に留め、廃棄物の削減に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・廃棄品、廃材となる段ボールやビニール、プラスチック製品を再利用するよう工夫し、廃棄物を削減する取組を実施している。 ・裏紙の使用やペーパーレス化に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・再生材を利用した事務用品を優先的に購入し、使用するよう努めている。 ・グリーン購入を実施している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	森林資源の伐採から有効利用し、専門家のアドバイスを積極的に取り入れて森林の育みを社員に教育し、持続可能な森林の経営・管理に努めている。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	オフィス、事業所、工場等で使用する備品は、繰り返し使用可能な物、詰め替え可能な物の利用を原則としており、プラスチック使用削減に取り組むと共に、陸地・海洋での社内イベント時の清掃活動を実施している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社用車の一部を水素自動車に転換し、またハイブリッド車両の導入を進めており、環境に配慮している。 ・長距離移動時は電車やバスなどの公共機関を利用することとしており、エネルギー使用量の削減に貢献し、環境に配慮している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・労働者派遣事業を行うに当たって考えられるリスクを考慮し、防止する対策を実施している。 ・サービス品質を確保するため、派遣法に則り、派遣元責任者資格を取得させた管理責任者を配置し、企業訪問や情報収集等によって顧客の意見を聞き取った上で関係者間で共有し、安全性や品質確保を行う仕組みがある。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・障がいの有無や高年齢者を問わず、雇用機会を提供している。教育訓練、福利厚生等においても他の従業員と同様に対応している。 ・オフィス内を段差の無い構造としている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・様々な事情により、就業する際の条件が限られる就業希望者に対し、詳細な状況の聞き取りと意見、要望する内容を最大限考慮し、就業希望者に合わせた職種への就業を支援している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域で開催されるイベントへの従業員の参加を積極的に取り組んでいる。 ・自然災害の被災地支援として、救援物資の提供を実施。 ・宮崎県日南海岸において海岸の清掃ボランティアを実施。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害発生時に備え、オフィス内に防災グッズを常備している。 ・従業員の安全確認を行うための連絡系統を決めており、迅速に各連絡を行う仕組みがある。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・労働者派遣業という人材サービスを行うに当たり、県内の若者を積極的に採用しており、県内地元での就業を推進している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。